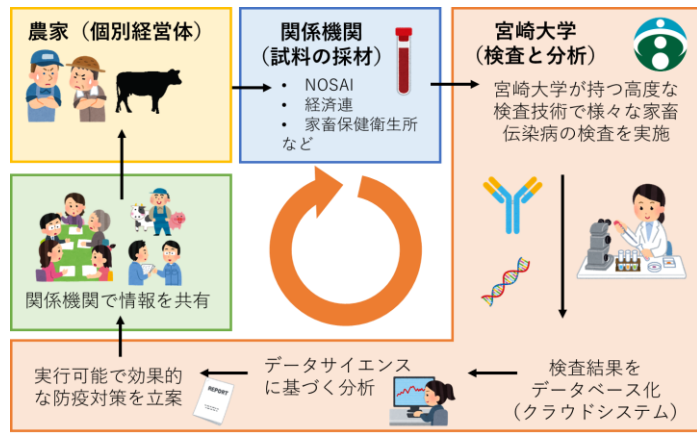


部局名 産業動物防疫リサーチセンター

担当：准教授 関口 敏

テーマ 数理・データサイエンスで畜産を活性化する課題解決型教育研究の取り組み

取組の様子



データ駆動型の防疫システムで防疫対策を包括的にサポート。検査・分析・対策・評価を繰り返すことによって対策を最適化する。

期待できる成果・評価 など

既存の防疫体制にデジタル技術を取り入れ、業務の効率化を図ることが期待されます。クラウドシステムを用いて分析結果をデータベース化し、一括管理することで、高度な統計解析や数理モデル、AIを活用した研究のスピードを加速することができます。これらデジタル化の結果として、畜産業界のみならず、ライフサイエンス領域に変革をもたらすことと考えます。

特色ある取組

産業動物防疫リサーチセンター(CADIC)は、年々増大する家畜伝染病の脅威に対応するため、ビッグデータとデジタル技術を活用して従来の防疫体制そのものを変革し、効率的で効果的なデータ駆動型の防疫システムを構築することを目指しています。家畜伝染病は、畜産業に甚大な経済的損失をもたらすのみならず、人類にとって食料の安定的な確保という点に関しても非常に重要な問題です。伝染病の発生を制御するためにも早期発見・早期対策は必須であり、その基盤として検査の実施や有効で実行可能な防疫対策の立案は欠かせません。そこで本センターは、家畜伝染病の検査事業を立ち上げました。本事業から得られる膨大な検査データは、検査依頼者の同意の下、貴重な教材・研究試料として活用されます。本学に在籍する学生は、この取り組みを通して地域の課題に直に触れながら実践型の数理・データサイエンスを学ぶことができます。また、個人の研究では入手することが困難なビッグデータが集積する本センターでは、自由で学際的な研究ができることも魅力の一つです。このように、本センターは、地域に根差した課題解決型教育と知的探究心に基づく価値創造型研究を推進しています。



農家さんとのコミュニケーションは最高の教材

参考URL

産業動物防疫リサーチセンターHP
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/>